

建築主：K氏
設計：有限会社翔建築設計
施工：株式会社尾嶋建設
所在地：佐倉市井野

建築文化奨励賞

ユニバーサルデザインに配慮した建築物

4世代・10人の家族が賑やかに暮す家

Care House INO (けあはうすいの)

新しい街づくりが始まったばかりの分譲地の中に建てられたINOの家(K邸)は、広々とした畑の中に、ひととき目立つ真っ白い外観、周囲に向けては、やや閉鎖的な感のある住宅である。

敷地面積328.99、延べ床面積209.49、木造2階建。現役真っ盛りのご夫妻が、車いす利用の母親の暮らしを考えて、両親とともに在宅で充実した暮らしを継続したいと、設計者と共に計画されたという。

玄関、中庭を挟んで左手一階の居間・食事室を中心に、右手の平屋部分を両親の生活空間、2階に夫妻の寝室と多目的空間を配置している。

一階部分は、引き戸を開放すると、中庭も含めて連続性のある快適な大空間に。どこにいても互いの気配を感じ取ることが出来るだろう。設計は母親の将来の車いす利用を考慮した暮らしをみんなで支えていこう、という配慮が感じられる。

両親の生活空間部は、段差の解消・斜路・引き戸・手すり等一応の必要条件是満たしているが、住宅全体としては、ユニバーサルデザインへの配慮に欠けるのでは、との意見があった。

しかし、住まい手の家族がこの家を大変気に入って、多世代で賑やかに暮していること。どんな状況の変化にもたくましく対応しながら、心地よい暮らしを創っていこうというパワーに感動して、奨励賞とした。(夏目幸子)



西側外観スロープからアプローチの中の玄関へ



親・子世帯をつなぐ中庭 正面は浴室 (撮影/中川敦玲)

建築主：RY氏
設計：山崎健太郎
施工：阿部建設株式会社
所在地：佐倉市江原新田

建築文化奨励賞

環境に配慮した建築物

魅力あるシンプルライフの実現

House in Sakura (はうすいんさくら)

住宅だが収納庫がない。間仕切り戸もない。定住にはいささか不自由もありそうだし、外観からは期間滞在型の週末ハウスやアトリエなどが想像される。

住人は庭続きに息子一家の住宅もある両親。不必要な家財をすべて切り捨て、シンプルライフを存分に楽しめる贅沢な暮らしの空間を実現させた。

玄関は設けなかったという庭からの出入り口は、接客、仕事場などを兼ねたゆとりのある広縁に例えられる。その先にキッチン、ダイニング兼リビング、寝室、浴室、さらに南面して緑景を遠望する多目的空間まで27m。

それぞれの空間である箱型をずらして交互につなげて細長く続く。東側には、手入れが行き届いた趣味のいいガーデニングが整えられており、室内からガラス越しに眺めの変化が楽しめる。

エアコンに頼らず、夏はこの細長い住居を貫通する南北の通風と、冬は45センチメートルもある厚いコンクリート床の蓄熱で暖房効果を図ってエコライフを徹底させた。

暮らしのイメージを卒直に実現した設計は、施主と設計者が十分な対話を楽しんだことを想像させる魅力ある空間の実験住宅を生み出した。

(野口瑠璃)



建物外観



建物内部から見た風景

(撮影/黒住建築写真事務所)